

No. 507
2013年
10月

OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F
電話 (03) 3851-6100 Fax (03) 3851-6055
<http://www.orsj.or.jp/>

● 日本OR学会各賞の候補ご推薦のお願い

本学会では、研究賞、研究賞奨励賞、業績賞、実施賞、普及賞、事例研究賞、論文賞、学生論文賞を設定し、それぞれの分野で顕著な成果・業績を挙げられた個人や企業を毎年表彰しております。つきましては、今年度も受賞候補者の積極的なご推薦を募ります。

推薦締切日は以下のとおりです。

1. 業績賞、普及賞、実施賞：2013年11月30日
2. 研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞：
2014年1月31日
3. 学生論文賞：2014年3月31日

推薦は原則として学会所定の様式に従ってください。様式は、ホームページ<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html>からダウンロードしてご利用ください。

なお、各賞の概要は次のとおりです。過去の受賞者一覧は、<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award.html>に記載しています。

〔研究賞〕 昭和43年(1968年)に創設された大西記念文献賞、およびそれを継承した文献賞を受け継ぎ、昨年度から設けられた本学会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす個人に贈られます。

1. 本学会員であること。
2. 独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与する研究業績を挙げていること。

授賞対象とする研究業績は過去5年以内のものとし、毎年1名程度を表彰する予定です。

〔研究賞奨励賞〕 若手研究者個人を対象とする賞です。上の研究賞の条件に加えて被推薦者の年齢に関して次の条件があります。被推薦者は、原則として2014年1月1日に満35歳以下であること。ただし、OR研究歴が短い方などは、この年齢制限を超えていても構いません。

授賞対象とする研究業績は過去3年以内のものとし、毎年3名程度を表彰する予定です。

〔業績賞〕 ORの研究・教育・実施などにかかわる活動に顕著な業績を挙げた個人に対して贈られます。ただし被推薦者は、原則として満40歳以上、満60歳以下の学会員であることが必要です。毎年1名程

度を表彰する予定です。

〔実施賞〕 ORの強力な実施・推進に対して贈られます。毎年1件程度を表彰する予定です。

〔普及賞〕 ORの普及に大きな貢献に対して贈られます。毎年1件程度を表彰する予定です。

〔事例研究賞〕 ORの優れた事例研究に対して贈られます。毎年3件程度を表彰する予定です。

*〔実施賞〕〔普及賞〕〔事例研究賞〕はともに、個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔論文賞〕 2010年度より設けられた新しい賞です。過去1年間に本学会論文誌に掲載された論文のうち、特に優れたもの1編に贈られます。授賞論文の著者すべて(非会員が含まれる場合も全員)を表彰します。なお、論文賞の推薦は募りません。

〔学生論文賞〕 学生によるORに関する優れた研究に対して贈られるものです。対象は、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文とします。毎年5編程度を表彰する予定です。学生・指導教員がともに本学会員であることが必要です。詳しい募集要項は、OR誌2月号に掲載します。

(表彰委員会)

● 2014年春季シンポジウム(第71回)

日 程：2014年3月5日(水)
場 所：大阪大学 豊中キャンパス

● 2014年春季研究発表会

日 程：2014年3月6日(木)、7日(金)
場 所：大阪大学 豊中キャンパス

● 第25回RAMPシンポジウム

日 時：2013年10月29日(火)、30日(水)
場 所：鹿児島大学稲盛会館(鹿児島市)
実行委員長：新森修一(鹿児島大学大学院理工学研究科)
プログラム：
10月29日(火)
受付 9:00~

開会の挨拶 9:20～

1. 「安定マッチング：様々な視点から」 9:30～12:30

オーガナイザー：岡本吉央（電気通信大学）

- 1-1) 安田洋祐（政策研究大学院大学）「マッチング・マーケットデザインの理論と実践」
- 1-2) 横尾 真（九州大学）「戦略的操作不可能な下限制約付きマッチング」
- 1-3) 宮崎修一（京都大学）「安定マッチング問題に対する近似アルゴリズム」

昼食 12:30～14:00

2. 「現代の通信技術と最適化」 14:00～17:00

オーガナイザー：田中利幸（京都大学）、
林 和則（京都大学）

- 2-1) 松田崇弘，笹部昌弘（大阪大学）「高信頼無線通信のためのネットワーク最適化」
- 2-2) 山本高至（京都大学）「無線通信システムへのゲーム理論の応用」
- 2-3) 梅原大祐（京都工芸繊維大学）「高速・高多重CANのための短パルス伝送路符号とその最適化問題」
- 2-4) 谷村崇仁，小田祥一朗，青木泰彦，イエンス・ラスムセン（(株)富士通研究所）「複雑化する光通信ネットワークとその制御」

懇親会（予定，18:30～）

10月30日（水）

3. 「エネルギーシステムにおける最適化」 9:30～12:30

オーガナイザー：武田朗子（東京大学）

- 3-1) 滑川 徹（慶応義塾大学）「電力市場における最適価格設定問題へのシステム制御アプローチ」
- 3-2) 畑中健志（東京工業大学）「エネルギーマネジメントのための分散最適化とゲーム」
- 3-3) 津田宏治（産業技術総合研究所）「フロンティア法による電力網構成制御」

昼食 12:30～14:00

4. 「横断する最適化」 14:00～17:00

オーガナイザー：神山直之（九州大学）

- 4-1) 穴井宏和（株）富士通研究所/九州大学「数式処理による最適化」
- 4-2) 増田直紀（東京大学）「ネットワークと最適化：複雑ネットワーク研究の話題から」
- 4-3) 上野賢哉（京都大学）「劣加法性で横断する

最適化から計算限界」

閉会の挨拶 17:00～

問合せ先：〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元1-24-35
鹿児島大学大学院理工学研究科（理学系）

第25回RAMPシンポジウム実行委員会事務局

新森修一 E-mail: shinmori@sci.kagoshima-u.ac.jp

シンポジウムURL：<http://www.sci.kagoshima-u.ac.jp/shinmori/RAMP2013/>

部会URL：<http://www.orsj.or.jp/ramp/index.html>

● **国際会議 APARM 2014（協賛）**

The 6th Asia-Pacific International Symposium on Advanced Reliability and Maintenance Modeling (APARM 2014)

日時：2014年8月21日～23日（論文投稿締切は2014年2月28日）

場所：北海学園大学（札幌市）

内容：2004年広島，2006年釜山（韓国），2008年台中（台湾），2010年ウエリントン（ニュージーランド），2012年南京（中国）に引き続き，第六回目のAPARMが来年8月に開催されます。参加者数は毎回百名を超え，アジア地域だけでなく欧米からの参加者も年々増えています。アジア地域における若手研究者によって立ち上げられたユニークな国際会議であり，その知名度も近年かなり向上しています。2006年から日本OR学会との協賛で開催しています。会議で採録された論文（英文）はプロシーディングス（出版社から販売予定）に掲載されています。信頼性・保水性評価の理論と応用に関する最新の研究成果を奮って投稿いただきますようご案内申し上げます。詳細は<http://www.aparmnet.org>をご覧ください。

問合せ先：共同実行委員長 山本久志（首都大学東京）

E-mail: yamamoto@sd.tmu.ac.jp

● **筑波大学高大連携シンポジウム2013
～地域課題克服へ若い世代が動く～（後援）**

日時：2013年11月4日（月）13:00～16:00

場所：筑波大学第三エリア3A棟204号室（つくば市天王台1丁目1-1）

主催：筑波大学

共催：国立大学協会，茨城県教育委員会

後援：OR学会，応用地域学会

プログラム

13:00

挨拶：阿江通良（副学長：教育担当）
 挨拶：村田一弘（茨城県教育庁高校教育課副参事）
 筑波大学高大連携実績：喜多英治（教育社会連携推進室副室長）

13:15

第一部：使える数学—高校生視座による応用分析—
 日立北高等学校，下妻第一高等学校，竜ヶ崎第一高等学校
 講評：腰塚武志（OR学会会長，南山大学教授）

14:25

第二部：社会を刺激する学際—高校生によるいわき市まちづくり計画—
 磐城桜ヶ丘高等学校
 講評：中村良平（応用地域学会会長，岡山大学教授）

16:00

フロアとの質疑応答
 御礼：大澤義明（筑波大学教育社会連携推進室長）

● 研究部会・グループ開催案内

〔待ち行列〕

・第242回

日 時：2013年10月19日(土) 14:00～17:00

場 所：東京工業大学大岡山キャンパス西8号館(W) 809号室

テーマと講師：*は講演者

- (1) 「散逸構造としてのトラヒック・ネットワーク」
下川信祐（NTTアドバンステクノロジー(株)）
- (2) 「クリティカルな処理を持つ並列計算のモデル化と処理時間の近似解析」
*加藤憲一，米澤直記，小山純輝（神奈川大学）

問合せ先：東京理科大学 小林正弘

E-mail: m_kobayashi@is.noda.tus.ac.jp

部会 URL：http://www.orsj.or.jp/queue/

〔評価のOR〕

・第56回

日 時：2013年10月19日(土) 13:30～16:00

場 所：政策研究大学院大学 4A会議室

〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1

http://www.grips.ac.jp/about/access/

テーマと講師：【医療関係の効率性分析特集】

- (1) “Estimation of the efficiency of Japanese

hospitals using a dynamic and network data envelopment analysis model”

河口洋行（成城大学 経済学部）

- (2) “Measuring the efficiencies of visiting nurse service agencies using data envelopment analysis”

桑原雄樹（東京大学大学院医学系研究科）

問合せ先：筒井美樹（電力中央研究所）

E-mail: miki@criepi.denken.or.jp

部会 URL：http://www-sys.ist.osaka-u.ac.jp/hyoka/

● 新宿OR研究会案内

〔第332回 新宿OR研究会〕

日 時：2013年10月15日(火) 12:00～14:00

場 所：東天紅会議室（新宿センタービル53F）

講 師：堀内正巳氏（(株)メディアラート社長）

テーマ：「ビッグデータを用いた医療費の適正化とデータヘルス事業への適用」

参加費：3,000円（事前にメールにてお申し込みください。）

問合せ先：日本OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 他学協会協賛案内

他学会等が主催する大会やシンポジウムで当学会が協賛しているものについては、原則として主催学会の会員と同じ費用で参加できますので、皆様奮ってご参加ください。

・秋季全国研究発表大会

日 程：2013年10月25日(金)～27日(日)

主 催：一般社団法人 経営情報学会

場 所：流通科学大学

大会テーマ：「ビッグデータの可能性」

URL：http://www.jasmin.jp/activity/zenkoku_taikai/2013_fall/

● 教員公募案内

・東海大学情報通信学部経営システム工学科

募集人員：准教授または講師1名

所 属：情報通信学部 経営システム工学科

専門分野：経営科学（品質管理，信頼性工学，確率システム，数理統計学，等）

担当科目：「品質管理」，「数理統計学」，「実験計画法」，

「信頼性工学」, 「確率システム」, 「品質管理特論」, 「応用統計学特論」, 等

着任時期: 2014年4月1日

任期: 常勤 (任期なし)

応募資格: (1) 博士の学位を有するか、または同等以上の学識を有すること、(2) レフェリー付論文を過去5年に3編以上著しているか、または同等の業績を有すること、(3) 本学の建学の精神を尊重し、熱意を持って教育にあたることができること

提出書類: (1) 履歴書、(2) 研究業績リスト (著書、論文、学術集会発表、学協会・教育・啓発活動等を記載)、(3) 主要な論文3編の別刷またはコピー、

(4) これまでの研究概要と今後の研究計画 (A4用紙2~3枚程度)、(5) 教育経験と着任後の教育への抱負 (A4用紙2~3枚程度)

応募締切: 2013年11月9日(土) 必着

選考方法: 書類選考および面接

提出先及び問合せ先:

〒108-8619 東京都港区高輪2-3-23

東海大学情報通信学部経営システム工学科学科主任

Tel: 03-3441-1171

*封筒に「教員応募書類在中」と朱書のうえ簡易書留で郵送のこと。

学生会員年会費無料化キャンペーン

① 2013年度・2014年度新入会学生の方は、入会金600円のみで入会できます。年会費5,000円は無料といたします。

② 2013年度年会費をすでに払込の学生会員の方には、ご指定の口座に返金いたします。

③ ①②とも**正会員である指導教員様より「学生会員年会費無料化キャンペーンに応募」**する旨のメールを事務局宛に発信していただくことにより、その学生会員の方の2013年度年会費を無料・返金させていただきます。

「教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属先、メールアドレス」を明記し、学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp まで。

④ なお、指導教員様にはお手数ですが、2014年度年会費無料に関して2014年1月に下記いずれかを事務局宛に発信してください。(発信なき場合は年会費徴収(学生会員年会費5,000円)となります。)

*「当該学生の2014年度学生会員年会費無料要請 Mail」→2014年度学生会員年会費無料

*「当該学生は卒業、就職等にて、正会員へシフト予定」→2014年度正会員年会費14,400円となります。

*「当該学生は卒業、就職等にて退会予定」

上記キャンペーンは、当面2年間としますが、延長などは状況により検討の予定です。

学会年度は、3月1日~2月末日です。

シニア会員について

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認により**シニア会員**になることができます。シニア会員の会費は7,200円です。

学会事務局 (E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

TEL 03-3851-6100) までお問合せください。

メーリングリスト登録のご案内

OR学会ではメーリングリストを開設し、本学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナーなどの催しに関する広報機能としてご利用いただいています。

新規にOR学会のご入会の方、未登録の方は、ご登録くださいますようお願い申し上げます。

ご登録済みのアドレスを変更する場合は、新しいメールアドレスで参加登録をし、古いアドレスは脱退の手続きをしてください。

詳しくは、学会WEBのメーリングリスト利用の手引きをご覧ください。

<http://www.orsj.or.jp/members/mlhowto.html>

年会費専用振込み口座

年会費: 正会員14,400円, 学生会員5,000円

口座名: 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

ゆうちょ銀行: 東京00190-6-79492

みずほ銀行: 根津支店 (店番号235) 普通1124744

*手数料は払込人負担でお願いいたします。

*会員番号とお名前は必ずお書きください。

お問合せ・各種お届け先 OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp	ご意見をお寄せください
<ul style="list-style-type: none"> ・住所／所属先／メールアドレス／OR誌送付先の変更／学生会員→正会員への変更 会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。 ・退会届 会員氏名と簡単な退会理由もお書きください。 	<p>研究発表会・シンポジウム・研究部会・機関誌・論文誌等の学会活動に関しまして、「気になること」「ご要望」「ご意見」等がございましたら、学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp までお寄せください。お待ちしております。</p>
年会費請求書の再発行	
会員氏名, 請求金額, 請求書宛名(個人名/法人名/法人名+個人名) 請求書の日付指定の有無 請求書様式の指定(請求書・見積書・納品書, 指定用紙ありなど)	
年会費領収書の発行	
会員氏名, 納入金額, 領収書宛名(個人名/法人名/法人名+個人名) 領収書の日付指定の有無 毎年発行希望の場合は, その旨, お書き添えください。	



社会人のための博士後期課程「早期修了プログラム」

— 最短1年で課程博士を取得 —

本プログラムでは、一定の研究業績や能力をもつ社会人のために、最短1年間で博士後期課程を修了して、課程博士が取得できる教育体制を整えています。昨年度は筑波大学全体で23名のプログラム履修生が1年間の在学で課程博士の学位を授与され修了しました。この度、平成26年4月の筑波大学の入学に向けた説明会を下記の通り開催いたします。皆様のご来場をお待ちしております。

◆ 説明会 ◆

東京キャンパス文京校舎 平成25年11月9日(土) 13:30 ~ 15:00
 筑波キャンパス(春日地区) 平成25年11月15日(金) 18:30 ~ 20:00

◆ 早期修了プログラムの詳細 ◆ <http://www.souki.tsukuba.ac.jp/> : jim@souki.tsukuba.ac.jp

◆ 実施研究科の問い合わせ先 ◆

・ビジネス科学等支援室教務係 : 03-3942-6918
 ・数理物質科学等支援室大学院教務担当: kyoumu-pas@un.tsukuba.ac.jp
 ・システム情報工学等支援室大学院教務: sysinfo.kyomu@sie.tsukuba.ac.jp
 ・生命環境科学等支援室大学院教務 : seimeiin@un.tsukuba.ac.jp